



かけはし

春のふれあい花と野菜作り



園の門の横に昨年度植えた空豆が、大きく育ちました。5月10日(金)に、みんなで、空豆を収穫しました。まず、一人が3本ずつしっかりと大きく育っている物を選んで取りました。その後、黄組の子どもたちが、殻から豆を外しました。すぐに、塩ゆでにもらって、おやつにいただきました。自分たちで育てた空豆、みんなで美味しくいただきました。



5月9日(木)には、野菜の苗を植えました。

トマト・オクラ・ナス・ピーマン・キュウリ・トウモロコシ・枝豆と、育てたい野菜を決めて、苗を購入しました。

まず、花壇から土を運んできて、腐葉土と化成肥料を混ぜて土作りをしました。

そして、プランターに、自分の苗を植えて水やりです。

それぞれのプランターに札をつけて、これから世話をします。おいしい野菜ができるのが楽しみです。しっかりと忘れずに水やりをしましょう。

今年は、お米にも挑戦します。5月13日(月)に、黄組の子どもたちが、粃まきをしました。連休の終わりに、消毒をして水につけていたので、もう根が出ていました。次の日には、もう芽がちらほら出ているを見つけました。6月の初めには、みんなで田植えをする計画です。



桃組さん 初めての給食



5月14日（火）は桃組で、初めての給食がありました。

幼稚園での集団生活が始まって一か月、先生の言われることをよく聞いて、先生が準備をしてくれている間、静かにいすに座って待つことができました。

今日は、初めてのなので、少し少なめに配膳して、食べ終わったらおかわりをするようにしました。みんな、上手に食べて、おかわりもすることができました。今月は1週間に1回ですが、少しずつ回数が増えていきます。

好き嫌いせずに、しっかり食べて、健康な体をつくりましょう。

「非認知能力」「主体的・対話的で深い学び」

笠岡市連合PTAの評議員会が、5月11日（土）に笠岡小学校で行われ、大井幼稚園からもPTAの役員さんが出席してくださいました。

その中で、市長と教育長のあいさつの中で、「非認知能力」「主体的・対話的で深い学び」についての話がありました。



「非認知能力」とは、知識・判断力などの知的な能力に対して、感情や心の働きに関連する能力だと言われています。幼児期にこの能力を高めると、成人してからもその効果が続き、社会的な成功や健全な生活につながるという研究が発表され、知的な能力に加えて、非認知能力を高めることが必要であり、小さいときほどこ

の能力は身につけやすいという研究結果があります。

「主体的・対話的で深い学び」は、幼稚園で今年度から本格実施され、小・中・高でも順次実施される新学習指導要領で、生涯にわたって学び続けるために必要な資質・能力として取り上げられています。「何を学ぶか」という知識に加えて、「どのように学ぶか」ということを今まで以上に大切にしなければならないということです。

幼稚園でも、これらのことを日々の活動の中で大切にしていきたいと思います。